

政策評価シート【総括票】

施策の柱	若葉区基本計画
------	----------------

基本方針	豊かな自然環境と地域資源を活かし 魅力と活力と誇りのあるまち 若葉区
------	---

担当局 (区)	若葉区
------------	-----

評価区分	A	政策の目的達成に向け十分成果が現われている
------	---	------------------------------

【評価の理由・説明】
 中間目標値を超えた指標は、「高齢者支え合い組織結成数」、「刑法犯認知件数」、「ウェブサイト若葉区から情報発信ホームページアクセス数」の3指標である。「高齢者支え合い組織結成数」は、自治会への説明会を積み重ねてきたことで地域での支え合いの重要性が認知され、組織の結成に繋がったと考えられる。また、「刑法犯認知件数」は、「防犯ウォーキングボランティア」が、年々増加していることにより、犯罪の抑止効果が図られ、地域の犯罪件数が減少したものと考えられる。また、「ウェブサイト若葉区から情報発信ホームページアクセス数」は、若葉区内の市の施設、若葉区民や区内の中学生の協力を得て、多くの魅力ある情報を発信できたことが要因と考えられる。
 一方、「魅力提供サポーター登録人数」については、中間目標値に届かなかった。これは、SNSなど個人でも幅広い情報発信を行える仕組みが一般化したことや、投稿サイト「ジモバナ」が市全域で本格運営されるなど、目標設定時には想定できなかった情報発信ツールが浸透したことで情報発信の仕組みとしての価値が低下していることが考えられる。また、ホームページを作成する行為自体が一般的に難しく感じられることも要因の一つであると推測される。

【今後の取組みの方向性】
 中間目標値を超えた3指標については、基本的にこれまで行ってきた取組みを継続していくことになるが、目標達成に向けて新たな取組みも検討していく。「高齢者支え合い組織結成数」は、活動に積極的な自治会は支え合い組織を結成してくれたが、今後は結成に至らない自治会への説明が必要になるため、提案の方法を検討していく。「刑法犯認知件数」では、ボランティア登録者数の伸び悩みと、ボランティアの高齢化により活動中止者も増えることが予想される。このため、帽子に替わる貸与品として、若者や女性受けする貸与品の導入を検討する。また、地域の防犯パトロール組織の結成や育成に力を入れ、なおいっそう刑法犯認知件数が減少するよう努力していく。
 目標値に満たなかった「魅力提供サポーター登録人数」については、ホームページを作成する魅力提供サポーターの募集を引き続き行いつつも、情報発信方法として専用ホームページだけでなく、新たに魅力情報を発信するツールとして始まった「ジモバナ」での発信も行っていく。

評価区分の基準(指標の達成状況の平均点数)
 A:4.5点以上、B:3.0点以上4.5点未満、C:1.5点以上3.0点未満、D:0点以上1.5点未満、E:0点未満

生活実感・行動指標

指標No.	指標名	H23末 現状値	H26末 中間目標値	H29末 中間目標値	H33末 目標値	H26末 現状値	H29末 現状値	H33末 現状値	達成状況	点数

客観指標

指標No.	指標名(単位)	H23末 現状値	H26末 中間目標値	H29末 中間目標値	H33末 目標値	H26末 現状値	H29末 現状値	H33末 現状値	達成状況	点数
182	高齢者支えあい組織結成数(組織数)	10	70	130	202	82			◎	5
183	刑法犯認知件数(若葉区)(件)	2,500	2,080	1,730	1,350	1,807			◎	5
184	「魅力提供サポーター」登録人数(人)	-	25	40	60	22			○	3
185	ウェブサイト「若葉区から情報発信」ホームページアクセス件数(件)	-	1,900	3,400	5,000	4,673			◎	5

平均点	4.5
-----	-----

施策別・事業の進捗状況

施策	進捗状況		主な事業の進捗状況(事業を取り巻く社会経済情勢、成果・課題など)
	達成	未達成	
若葉区	8	0	市内で最も高齢化が進展する。 数多くの文化財・史跡が存在する。また市動物公園は、県内最大級の規模を誇る動物公園として市民の憩いの場となっている。 「若葉区の魅力伝承」については、計画内容どおりに実施し、ウェブサイトへのアクセス件数は大幅に増加している。